

公開実用 昭和63- 79307

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭63-79307

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>  
B 65 B 31/04

識別記号 庁内整理番号  
6576-3E

⑭ 公開 昭和63年(1988)5月25日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 密封包装器

⑯ 実 願 昭61-173307

⑰ 出 願 昭61(1986)11月13日

⑱ 考 案 者	岩 寺 幹 雄	東京都港区芝1丁目8番19号	株式会社白山製作所内
⑲ 考 案 者	吉 田 宏 登	東京都港区芝1丁目8番19号	株式会社白山製作所内
⑳ 出 願 人	株式会社 白山製作所	東京都港区芝1丁目8番19号	
㉑ 代 理 人	弁理士 吉田 芳春		

## 明 細 書

### 1、考案の名称

密 封 包 装 器

### 2、実用新案登録請求の範囲

(1) 脱気源に連通する脱気ノズルから包装袋内を脱気して袋開口部を密封するための密封包装器において、

脱気源から脱気ノズルまでの間に脱気力を調整可能な調整機構が備えられていることを特徴とする密封包装器。

(2) 実用新案登録請求の範囲第1項記載のものにおいて、調整機構が調整弁であることを特徴とする密封包装器。

### 3、考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、ビニル等の合成樹脂製包装袋の内部を脱気して開口部を密封するための密封包装器に関する。

〔従来技術〕

この種の密封包装器としては、特開昭55-1

4 3 2 1 9 号や実開昭 5 5 - 1 3 4 9 1 0 号に示すように送風機による脱気構造のものが提供されている

又、実開昭 5 6 - 3 8 0 0 6 号に示すように、脱気源として真空ポンプを用いた脱気構造もある。

〔考案が解決しようとする問題点〕

前記送風機による脱気構造においては、脱気力が弱いので固形物を密封する場合には固形物間の間隙を十分に脱気できないものであった。実際にも、2 0 m m H g 以上脱気するのが困難であって、実用的ではなかった。上記構造において脱気力を高めるには、脱気状態を目視しながら長時間継続脱気しなければならず、面倒で手間が掛かるものであった。

又、真空ポンプによる脱気構造においては、ある程度の脱気力を発揮できる構造に設計可能であるが、汁等の流動物を密封する場合には流動物が袋内からノズルへ流入する欠点があった。そのために、袋開口部巾方向を外側から挟み込みした一

部のみの開放部から脱気可能とした液体クリップが別売りされていた。然しながら、別に部品として購入しなければならないうえ、装着と取外しに手間が掛るものであった。

而して、本考案は上記実情に鑑みて考案されたものであって、脱気力を調整できるようにして、固形物や流動物に対応できるようにした密封包装器の提供を、その目的とするものである。

#### 〔考案の特徴〕

上記目的を達成するための本考案に係る密封包装器は、袋内の脱気力を調整可能な調整機構が脱気源から脱気ノズルまでの間に備えられていることを特徴とするものである。

#### 〔考案の作用〕

脱気源から包装袋内を脱気するに際して、包装袋内の固形物或いは流動物の相違によって調整機構によって脱気力を調整する。固形物の場合には、脱気力を高くして強力に脱気する。流動物の場合には調整機構の調整によって脱気力を低下させ、空気のみを脱気して流動物が流れ込まない程

度の低い脱気力で脱気する。

〔考案の実施例〕

図面は本考案に係る密封包装器の脱気機構の一実施例を示し、第1図は密封包装器に適用した全体斜視図、第2図は脱気ノズル回りの取出し状態の斜視図、第3図は同ノズルの分解斜視図、第4図は同ノズルの断面図である。

密封包装器1はベース本体2に回動自在な押え部材3と蓋体4とを備え、上記押え部材3の下方でベース本体2の上面には脱気ノズル5が配置され、脱気ノズル5は脱気源50に連通されている。この脱気ノズル5と例えばダイヤフラム型ポンプから成る脱気源50との間には脱気調整機構としても脱気調整弁6が設けられている。

詳述すると、脱気調整弁6はフィルタ機構7に備えることができる。上記フィルタ機構7は、下部ケース70にシール材72を介して上部ケース71を嵌合して密閉室73を構成し、この密閉室73の内部にフィルタ74を介装して成る。上記各ケース71、72には突条75と溝条76とで

位置決め係合され、上部ケース 7 2 には脱気調整弁 6 が調整可に取付されている。図中 7 7 は吸気源 5 0 に接続するホースである。

上記脱気調整弁 6 は、例えばつまみ 6 0 の下面 6 1 を上部ケース 7 1 の上面枠部内側上面 7 8 で回動可に構成し、上部ケース 7 1 の内側からつまみ軸 6 2 に巻設したスプリング 6 3 でつまみ下面 6 1 を枠内側上面 7 7 で密着させつつ、逃がし溝 6 4 と 7 9 が離間した状態で閉状態とされ、逃がし溝 6 4 、7 9 の一致によって開状態とされる。スプリング 6 3 は軸 6 2 への止めねじ 6 5 で取付されている。尚、つまみ 6 0 は回り止め溝 6 6 とこれに係入する突起 6 7 とによって調整位置決めがなされる。

さらに、脱気ノズル 5 はノズル端面 5 2 の脱気口 5 3 に交差する方向には複数の分岐口 5 1 . . が連通されている。上記ノズル 5 は上側部 5 4 が中膨らみに湾曲形成され、上側部 5 4 よりも下側部 5 5 が薄く略直線状に構成されている。又、脱気ノズル 5 の後方は略テーパー状部 5 6 を介して薄

肉受部 57 が連成され、薄肉受部 56 のホース 57 を介してフィルタ機構 7 に接続されている。

上記構成に基づく作用を説明する。

包装袋 C に固形物を入れた場合には、脱気調整弁 6 を閉状態のままにして、脱気ノズル 5 に一方を片寄せセットして押え部材 3 で袋開口部 C1 を押えて脱気源 50 から吸引開始する。

脱気力は脱気ノズル 5 に強力に作用して袋内を急激に脱気して行くので、開口部 C1 に位置する上下フィルム面 C2, C3 が先に密着して脱気通路を閉塞しようとする。実際にも例えば 250 mm Hg 程度の脱気力があれば上記現象を招来するが、分岐口 51 での袋吸引によって開口部 C1 での上下袋面密着を阻止する。又、分岐口 51 の吸込みによるシワ発生によって、上下フィルム面 C2, C3 の間に脱気空隙が確保される。脱気後には蓋体 4 によって開口部 C1 がシールされる。

又、袋内に流動物を入れた場合には、脱気調整弁 6 のつまみ 60 を回動操作して逃がし口 64, 79 を一致させて空気流入が可能な開状態として

おく。斯る状態で脱気源 50 から吸引開始すれば、逃がし口 64, 79 からの空気流入によって脱気力が低下するので、袋内には弱い脱気力が徐々に作用して流動物を吸込みしない程度で袋内が脱気されるに至る。実際には 20 mm Hg 程度の脱気力で十分であった。

上記一実施例において、脱気調整弁 6 を図示説明したが、管路を開閉可能な構造であれば、例えばネジ構造のニードル弁等の各種調整構造を選択できる。又、脱気ノズル自体に設けることも可能である。密封包装器 1 を図示したが、袋開口部 C1 から脱気ノズル 5 を介して脱気する構造であれば実施可能である。

#### 〔考案の効果〕

以上説明したように本考案に係る密封包装器によれば、脱気源から脱気ノズルまでの間に脱気力を調整可能な調整弁を備えることによって、固形物の密封に対しては強い脱気力で迅速にシールすることができるうえ、流動物の密封に対しては脱気力を調整することによって吸過ぎをなくして適



切にシールすることができる。

#### 4 図面の簡単な説明

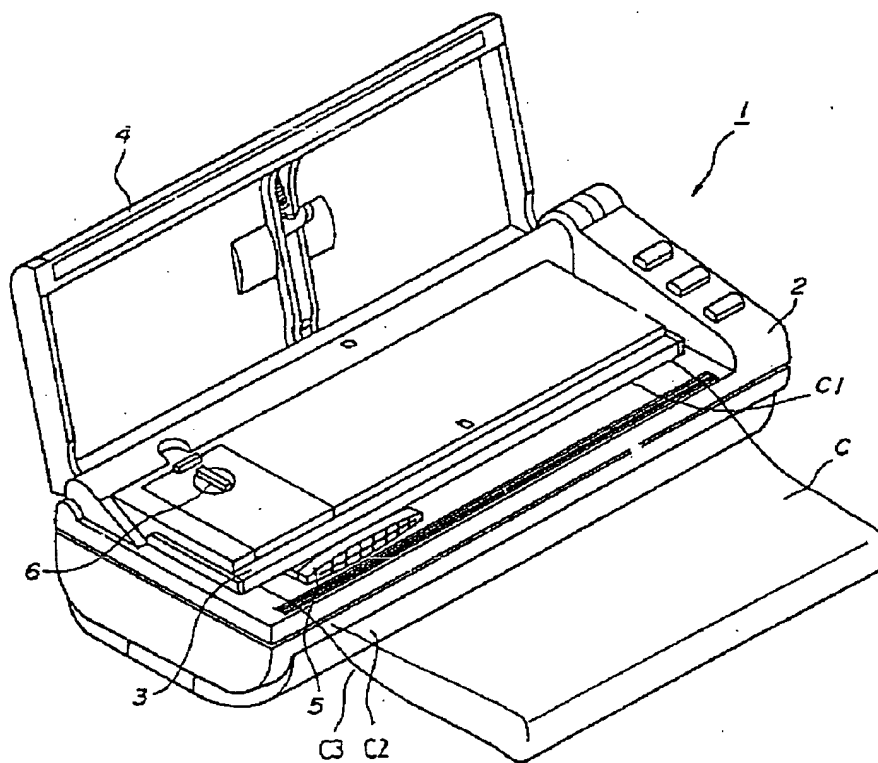
図面は本考案に係る密封包装器の脱気機構の一実施例を示し、第1図は密封包装器に適用した全体斜視図、第2図は脱気ノズル回りの取出し状態の斜視図、第3図は同ノズルの分解斜視図、第4図は同ノズルの断面図である。

1 . . 密封包装器、2 . . ベース本体、  
3 . . 押え部材、4 . . 蓋体、  
5 . . 脱気ノズル、6 . . 脱気調整弁、  
7 . . フィルタ機構、60 . . つまみ、  
64, 79 . . 逃がし溝、71 . . 上部ケース、  
74 . . フィルタ。

実用新案登録出願人 . . 株式会社白山製作所

代理人 . . 弁理士 吉田 芳 春

第 1 圖

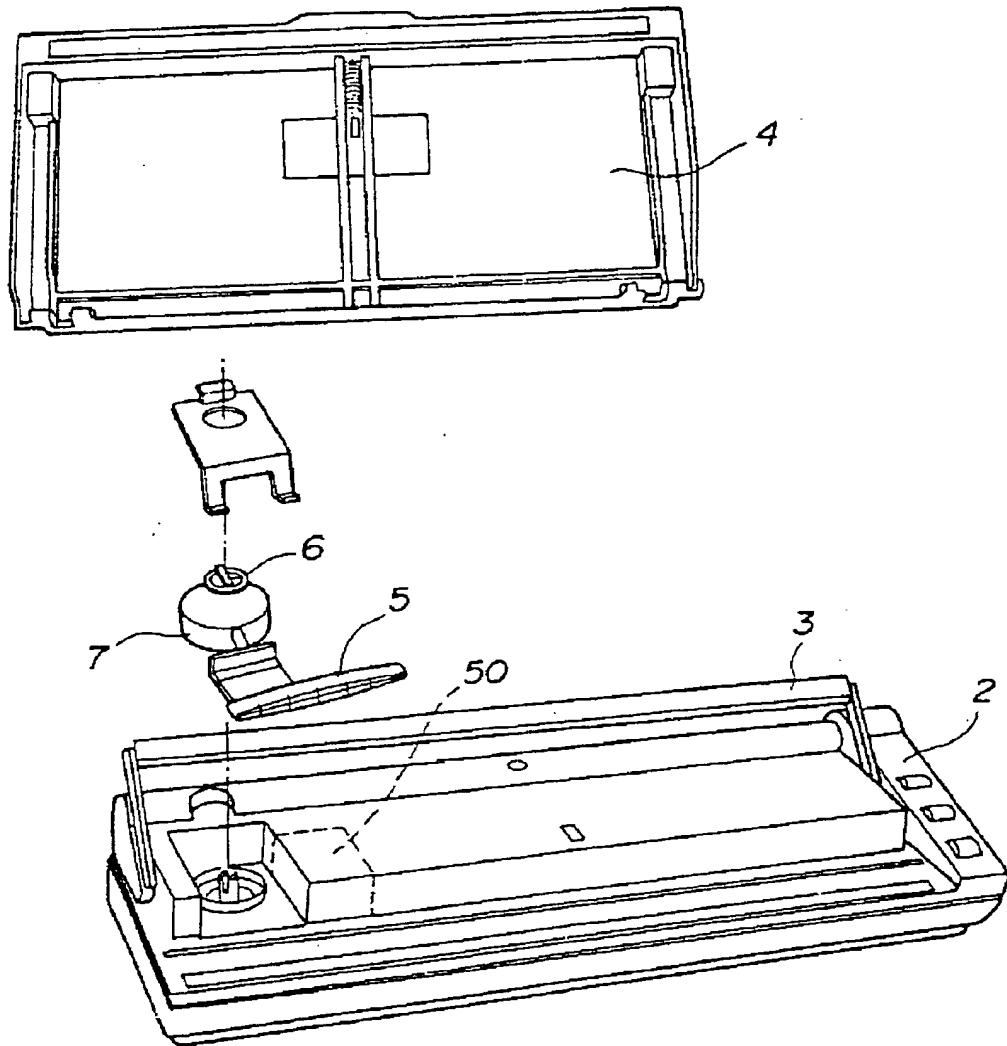


代理人弁理士 吉田芳春

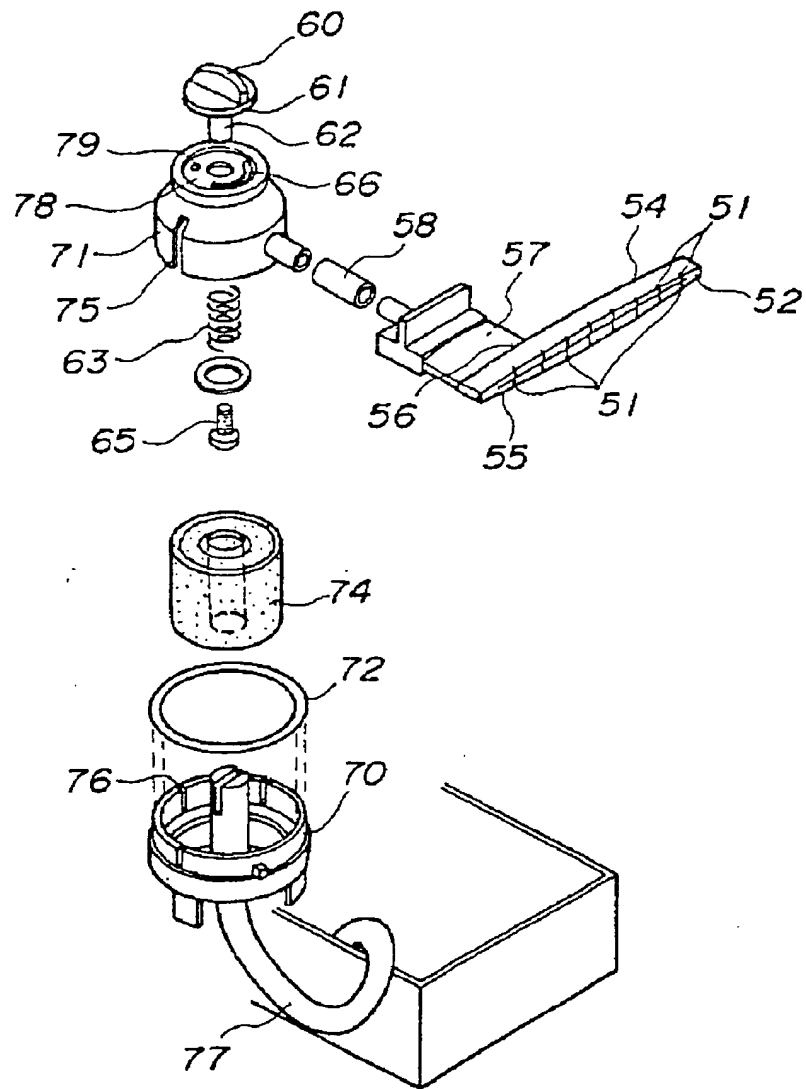
84 .

4000 63 - 79307

第 2 図



第 3 図

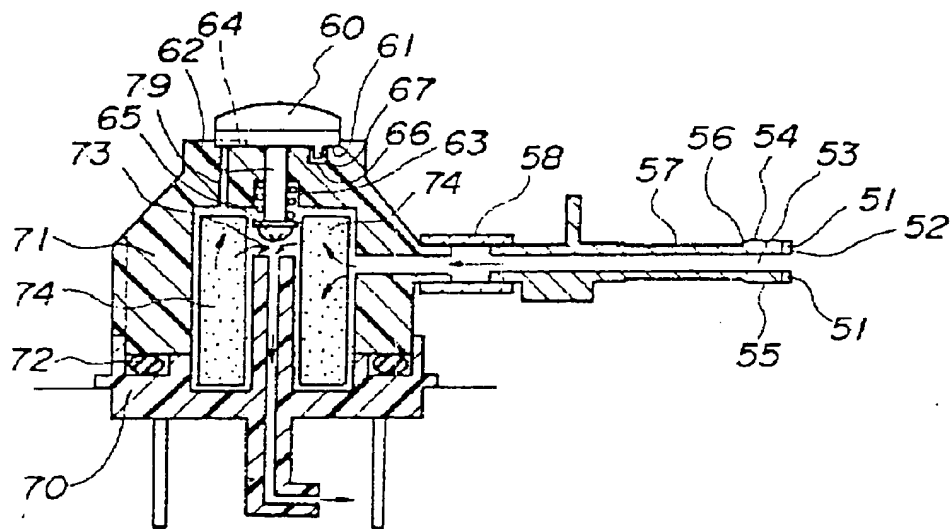


代理人弁理士 吉田芳春

86

特許 63-79307

第 4 図



代理人弁理士 吉田芳春

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**